

留学生センター主催講演会

5月25日（水）14時半開場

コロナ禍の移民たち —その現状と課題

場所：N313 教室（オンラインも可）

日本には、現在 282 万人以上の在日外国人（在留資格を持つ外国人、2021 年統計）が住んでいます。コロナ禍で、来日外国人数は減少しましたが、172 万人以上の外国人労働者（技能実習生約 35 万人、資格外活動の留学生約 27 万人など）が日本の経済を支えています。コロナ禍では、エッセンシャルワーカーや外国人労働者などに最もしわ寄せが行き、職場から解雇され、かつ国にも戻れない中、行き詰まる人たちも数多くいます。また、学費と生活費をアルバイトで稼ぐ留学生にとっては、仕事がなくなることは学業や生活が続けられないこととなります。また、外国につながる子どもたちの教育支援の場が狭められる現実があります。

本講演では、こうしたコロナ禍での移民たち（移住者特に技能実習生や留学生、難民・仮放免者、外国につながる子どもなど）の現状を、長らく外国人労働者問題をはじめとする移住者問題と取り組んできた鳥井一平氏にお話しいただきます。移民社会に移行しつつある日本社会において、格差や不平等、人権侵害のない多文化共生社会をいかにして実現していったらいいでしょうか。こうした課題を考えるきっかけにいただければ幸いです。

申し込み方法： 下記申込フォーム、及び QR コードからお申し込みください。新型コロナウイルス感染防止の観点から、会場は学内の方のみに限定させていただきます。対面・オンラインの希望はフォームにお書きください。

<https://forms.office.com/r/u4LYWrEsyU>



講演者紹介

鳥井一平氏

（移住者と連帯する全国
ネットワーク代表理事）

1990 年以來外国人労働者の
権利支援活動に携わる。

2005 年、外国人技能実習生が
時給 300 円で働かされている
実態を告発し、技能実習生支援
活動を本格化。「現代の奴隷

制」と批判される技能実習制度
の問題を追及してきた活動と永
年にわたる外国人労働者支援が
認められ、アメリカ国務省から

2013 年度の“Trafficking in
Persons Report Heroes
（人身売買と闘うヒーロー）”

に選ばれた。

2019 年 NHK「プロフェッ
ショナル 仕事の流儀」に出演。

著書：『国家と移民—外国人労働
者と日本の未来』集英社新

書、2020

**主催：東京学芸大学
留学生センター**

担当・問合せ先：

岡 智之

okatom@u-gakugei.ac.jp